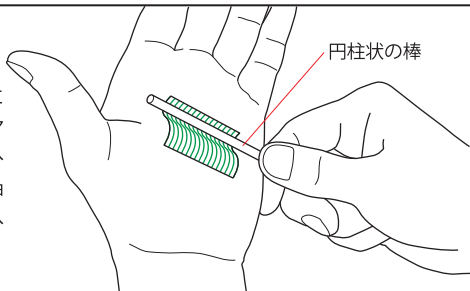


用意するもの

- はさみ ● カッターナイフ ● 定規 ● ピンセット
- のり(合成ゴム系接着剤がオススメ、または木工用接着剤)
- 折リスジを付けるための道具(鉄筆や、インクの切れたボールペン)
- 丸みを付けるための円柱棒(編み棒や鉛筆など)
- 紙の切り口着色用塗料(アクリル絵の具や、サインペンなど)
- つまようじ ● 工作用マット など




アールの付け方

片方の手のひらにパーツを乗せ、アールを付ける部分に円柱状の棒を押し当てながら充分にしごきます。



※ペーパークラフトをより美しく仕上げるためのコツや作り方はホームページ内のペーパークラフト入門を参考にしてください。

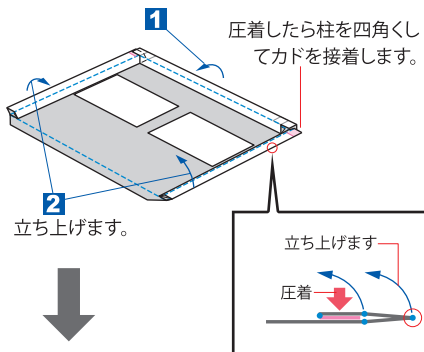
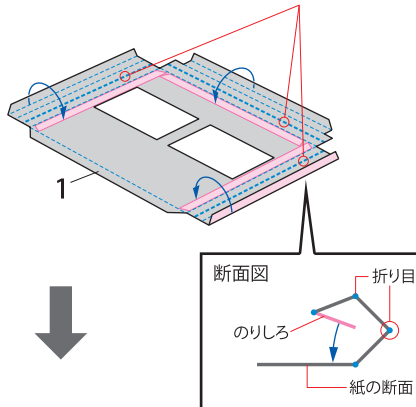
作り方

1. パーツを切り取り線に沿って切り離します。
※ パーツのカット面(紙の断面)は組み立て前に同色の絵の具やサインペンで、あらかじめ着色しておくとう仕上がりが美しくなります。
2. 山折り、谷折りの線に沿って折り目をつけます。鉄筆やインクの切れたボールペンなど、先のとがったものでスジをつけておくときれいに折れます。印刷面にキズを付けたくないときは紙の裏からスジを付けます。
※折るところはしっかり折るのがポイントです。
3. アール(丸み)をつける場所は、丸めたい部分の上に定規をあて、紙の端を持ち上げながら、定規をずらしてカールさせる方法と、左図のように円柱状のものを芯にして巻きつけながらしごく方法などがあります。
図の  がアールをつけるところです。
4. 接着する前に組み立て図や完成写真をよく見て、どんな形になるのか仮組みをしてみます。同時にアールの付き具合も確認しましょう。
接着剤は 紙のへら(紙の余白を利用してへらを作る)や、つまようじなどを使ってうすく塗るときれいに仕上がります。
5. 完成写真や組み立て図をよく見て、■の番号順に接着していきます。
※ 基本的にパーツ番号の1から順に2,3,4...と組み立てていくのが約束です。図中の  は紙の裏側、各色の  はのりづけするところを表しています。
※カッターナイフを使用する際は指など切らないよう充分ご注意ください。

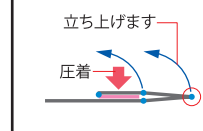
1

まず、折り線に沿って折り筋を付けて、一度完全に折り曲げます。3辺を内側にたたみ込むように折り込んで接着し、四角くなるように立ち上げます。

この折り線に沿って折り込んで接着します。



立ち上げます。

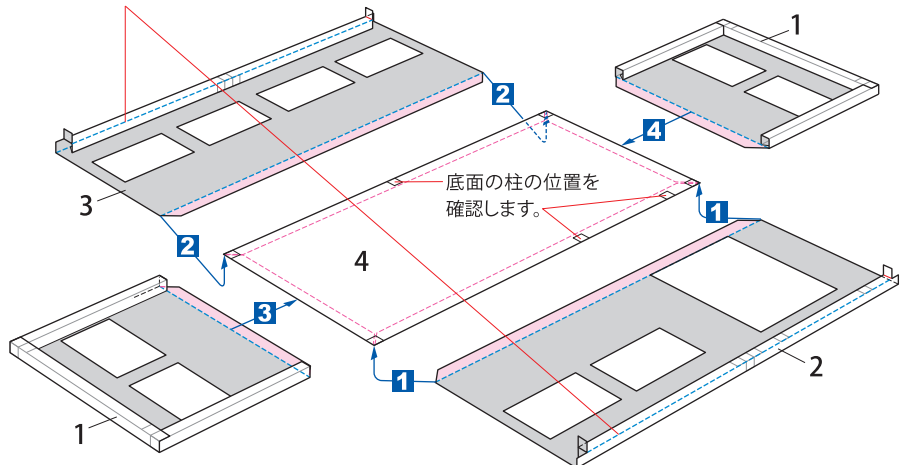


※同じものをもうひとつ作ります。

2

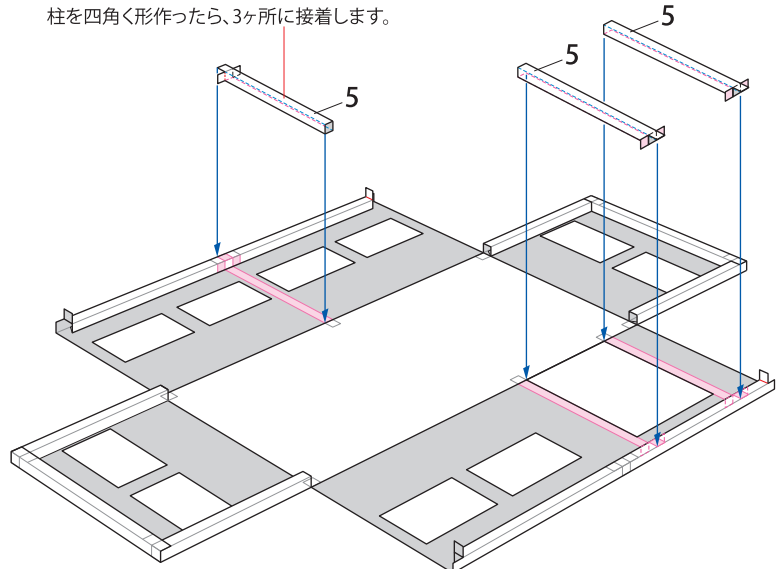
底面と側面の端を正確に合わせて■の番号順に接着していきます。

まず、柱を前項と同様に四角く形作ります。



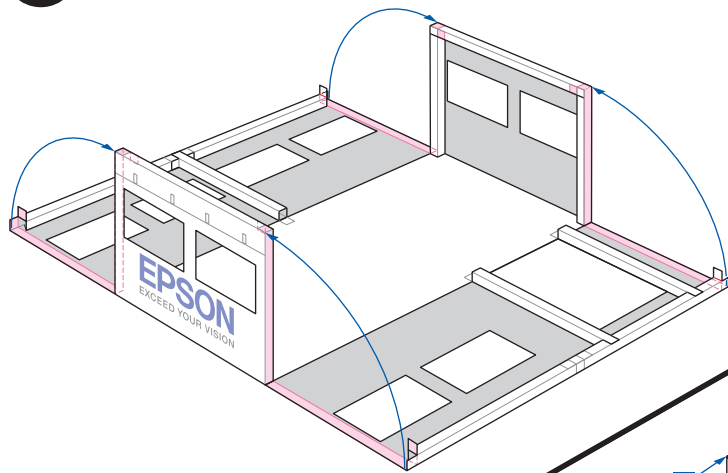
3

柱を四角く形作ったら、3ヶ所に接着します。

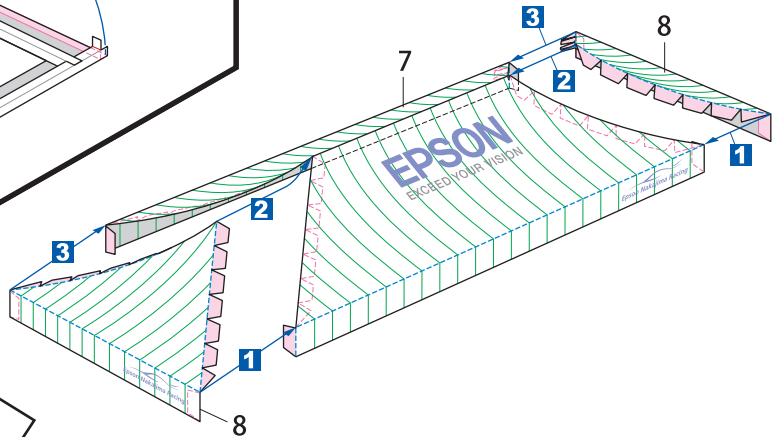


4

ゆがまないように端を正確に合わせて、一辺ずつ接着していきます。



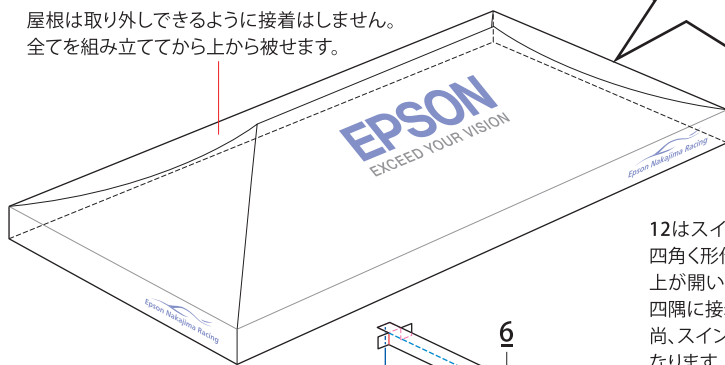
図のようにアールを付けて■の番号順に片側ずつ接着します。



5

■の番号順に接着します。

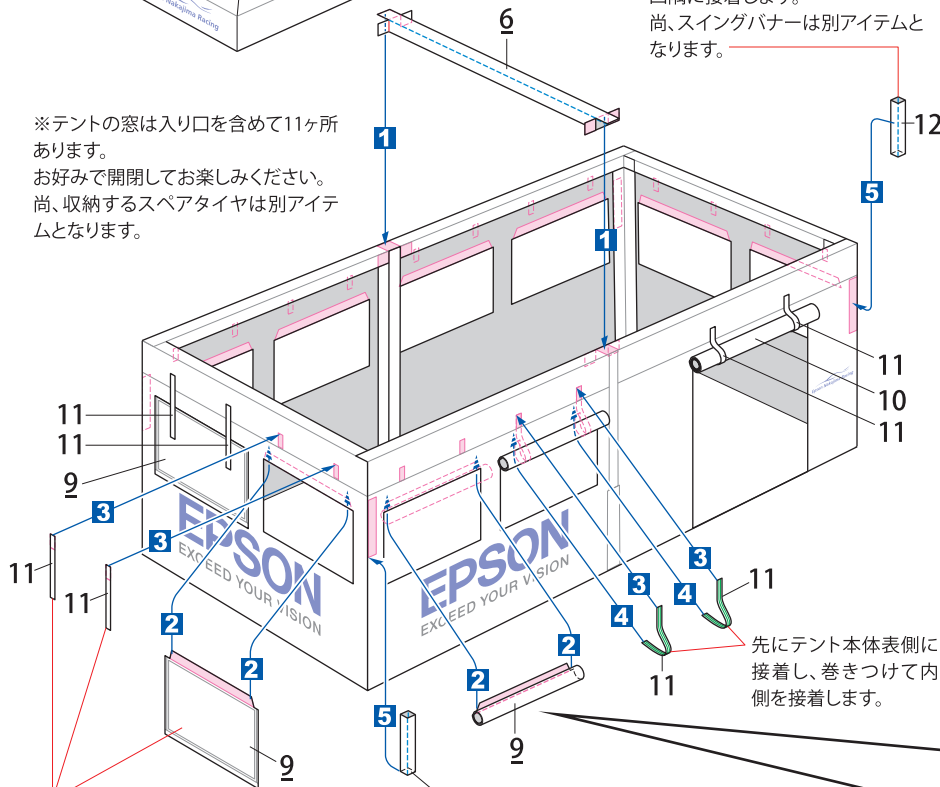
屋根は取り外しできるように接着はしません。全てを組み立ててから上から被せます。



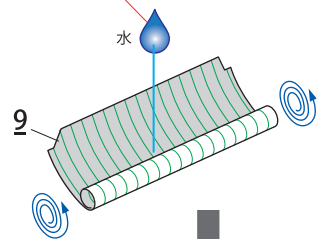
※のりしろを内側に折り込んでおくと、組み立て易くなります。

12はスイングバーの受けです。四角く形作ります。(合計4つ) 上が開いている状態でtent本体の四隅に接着します。尚、スイングバーは別アイテムとなります。

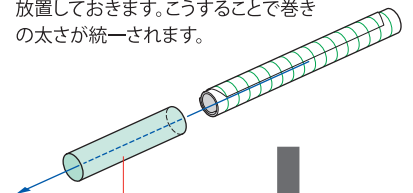
※tentの窓は入り口を含めて11ヶ所あります。お好みで開閉してお楽しみください。尚、収納するスペアタイヤは別アイテムとなります。



tentの窓は丸めるとアールに仕上がります。巻きやすくするため、ぬれた布や絵筆などを使って、水で紙の裏側を少し湿らせて丸めます。霧吹きなども便利です。

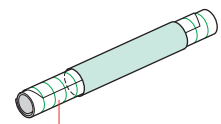


直径5~6mmのストローなどを適当な長さに切って、丸めた窓を差し込み、紙が乾くまで放置しておきます。こうすることで巻きの太さが統一されます。



直径5~6mmのストローなど

先にtent本体表側に接着し、巻きつけて内側に接着します。



紙が乾くまで放置しておきます。

窓を閉じる場合は丸めずそのまま接着します。 12 スイングバー受け